

チャレンジ部門採用企画の活動状況

採用企画「clean spiral kyoto」(代表者 若谷 巧)

企画概要

「京都の街をキレイに、人の心をキレイに」をコンセプトに、ポイ捨てされたゴミの清掃活動、落書きの除去、落書き防止のためのシャッターペイントなど街の美化活動を行う。

活動状況

6月5日掃除

この日もいつもの様に、三条通・御池通の掃除を行いました。この日の参加人数は5人。天気もよく晴れ快晴で、まさに掃除日和でした。

朝9時過ぎに新風館の裏口を出発し、とりあえず三条通を寺町京極の商店街とぶつかるころ(かに道楽の看板、三嶋亭のあるところ)まで掃除終了。いつもならココで寺町京極の商店街を抜けて御池通りに抜けるのですが、この日は三条通にゴミが少なく予定よりも早く三条通の清掃が終わったため、まっすぐ三条商店街を抜けて河原町通まで行くことに。しかし、河原町通に着いてみると、先に通りを掃除する薄緑の作業着を着たおばさんの集団が!!おばさん達の正体は、京都市が今年の四月に創設した「京(みやこ)華やぎ隊」。後で聞いた話によると彼女らは、木屋町・河原町の美化を目的に創設され、月曜から日曜までの毎日、木屋町・河原町の掃除をしているということです。

さて、うっかり華やぎ隊と出くわし無駄足を踏んでしまった私達は、華やぎ隊の活躍ですっかりキレイになった河原町通をそそくさと後にし、河原町御池の交差点から気を取り直して掃除を再開することにしました。御池通は普段と変わることなくタバコの吸殻が落ちていて、他に目立ったゴミはありませんでした。この日改めて思ったことは、植え込みの中に捨てられているゴミが多いことでした。人目に付かないように死角にゴミを捨てるということに人間の心理が表れているなと思いました。

この日の反省は、他団体が活動しているのを知らずまるで対抗しているような形になったこと。京都を掃除している団体は以外に多く、多くの団体と連絡を取ってお互いに協力していきたいと考えています。



7月14日(祇園祭掃除)

この日は祇園祭の夜の掃除を行いました。元々は山鉾連合会の行っている掃除に参加させてもらいたいと考え山鉾連合会に参加の申し出をしたのですが、調整がうまくいかず、今回は断念することに。しかし、以前から掃除に協力くださっていた音楽イベントの京都酔唄を主催されている篠部大五郎さんに、鈴鹿山保存会が行う町内の清掃に参加してみないかというお誘いを頂き、祇園祭の夜の掃除に参加しました。

この日の参加人数は 7 名で、京都酔唄の篠部大五郎さん、10 円新聞という学生向けの新聞の作成などをされているヒューマンリング代表の松下良平さんが参加してくださいました。

祇園祭が終わる 11 時から掃除を開始し道路に出たのですが、道路一面ゴミだらけでした。鈴鹿山の町内だけの清掃だったため、清掃範囲は烏丸御池の交差点から南に 2 ブロックほど (200 ~ 300m くらい) でしたが、ゴミ袋が全部で 10 袋以上いっぱいになる程のゴミが落ちていました。



人数が多かったため 1 時間程度で清掃活動は終了しましたが、大量のゴミのおかげで参加者全員疲れ果てた夜となりました。しかし、初めて掃除参加してくださった方からは、思っていたよりも楽しかったという感想をいただきました。

7 月 15 日(祇園祭掃除)

この日も祇園祭の後の掃除を行いました。この日は私(若谷)は用があり参加できませんでした。参加してくれた部員に話を聞くと、参加人数は全員で 3 人で、部員以外に参加したのは新風館の館長と私の友人でした。

この日は 14 日よりゴミが多く、掃除に 2 時間近くかかってしまったということです。

7 月 16 日(祇園祭掃除)

この日も祇園祭の後の掃除を行いました。この日の参加人数は 8 名で、新風館の館長の渡辺さん、京都酔唄の篠部さんが参加してくださいました。

この日の様子はまさにゴミの掃き溜め、街がゴミ箱になったのかと思うほど一面ゴミだらけでした。祇園祭で一日中道路が歩行者天国になっていたため、車道の植え込みのところにまでゴミが溢れていました。街に設置されているゴミ箱はゴミが入りきらずあたりにゴミが散乱していました。

ゴミが多かったのは、カラオケ屋のチラシや団扇、缶やペットボトル、屋台のトレイや割り箸などでした。タバコの吸殻などは拾うのが嫌になるくらい落ちていました。また、多くの屋台の業者が出たゴミを道路に放置して帰っていくため祇園祭宵山最終日のゴミは異常な量となりました。山鉾連合会の話によると、祇園祭で出るゴミの量は 20 t ~ 30 t にもなるそうです。

この日作業が終わったのは夜 12 時半ごろでした。疲れたけれど達成感も大きい夜でした。

